

〈英米語学科〉

英語による口頭試問について

神田外語大学の英米語学科では、大学でのアカデミックな学びの土台となる英語の読解力と表現力を以下のように測ります。

【形式】

- ① 150 語程度の英文パッセージを 2 分間で黙読し、その内容に関する 6 つの質問に答えます。
- ② Opinion & Discussion: 英文パッセージの内容に関連して、自分の意見を英語で述べます。
- ③ Summarize your opinion (筆記): ②で述べた自分の意見を、最後に英語 1 文で書いてまとめます。

【要求される読解力と表現力】

1. 本文中から質問の答えとなる箇所を探し出して答えること
2. 本文中の情報や筆者の意見を正確に読み取り、自分のことばで説明すること
3. 本文の内容に関連した問いに対して、自分の考えを論理的に述べること
4. 自分の考えを英語 1 文で簡潔にまとめて書くこと

【英文パッセージの内容】

扱われるトピックは、特別な専門知識を必要とするものではありません。社会で身近に起こっていることや、新聞・ニュースなどでよく取り上げられる話題が中心です。

【アドバイス】

受験対策としては、まず日頃から身近な話題について書かれた英文を読む習慣をつけることが大切です。200 語程度の英文を 2 分ほどで読み、筆者が何を主張しているのか、また、その主張を支える事実・理由・具体例は何かを読み取れるようにしておきましょう。

学習方法としては、英語による口頭試問対策のためのノートを 1 冊用意し、学習者向けの英語ニュースなどの記事を見開きの左ページに貼り付けて読み、右ページに記事の要旨と、それを支える根拠を書き出す練習が効果的です。また、読んだ内容について自分の意見を英語でノートに書く練習も役立ちます。分からない単語や表現を調べて書き留めることで、理解が深まり、その話題に関連する語彙も身につきます。さらに、先生や周囲の人と英語で意見交換をすることで、質問に対して英語で答える練習にもなります。

日頃から、社会で起きている出来事やさまざまな議論に関心を持ち、英文を読むこと、自分の考えを英語で話したり書いたりすることが、入試で力を発揮することにつながります。こうした積み重ねによって培われた英語の読解力と表現力は、大学での学びを充実したものにするための大切な基礎力となります。